

# 会場での質疑応答の記録

城東中学校区

Q 1 :	学校再編ありきなのか。
A 1 :	少子化や財政状況、学校の授業のあり方を考えた時に、再編を進めた方がよいと教育委員会では考えている。ただ、それを強引に押し進めるということではなくて、皆さんの御意見を伺いながら、多くの方の御理解をいただきながら進めていきたいと考えている。 反対の意見もありがたく頂戴して、反対の理由、不安、心配事をどれだけ解消しながら前に進めていきたいと考えている。
Q 2 :	今後のスケジュールや優先順番はどう決まっていくか。
A 2 :	9 中学区を同時に進めるのは難しいため、優先順位をつける必要がある。再編計画を作って進めていくのにあたり話し合いのペースを現行の中学校区ごとに行っているが、まずは学区をどうするのかという議論が最初になると思う。その中で再編するのか、しないのかの話し合いをしていきたい。 子どもの意見については、中学校区ごとに学校をつくりましょうという時に、こんな学校だったら私は通いたいとか、今の学校のこんなところが嫌だからこう変えたいという意見を聞きたいと思っている。今の段階で聞けば、自分の学校が一番良いと言うに違いないと思っている。子どもの意見を聞くのはもう少し先の段階だと思っている。
Q 3 :	中学校の部活動は今後どうなっていくのか。
A 3 :	少子化の影響でやりたい部活がないという子どもが増えている。子ども達のやりたい種目、志向にあわせてやらせてあげたいと考えている。どういった枠組みでやるのがよいのかということを検討している。複数の中学校の部活を一緒にやることの課題点等の検討を行っている。結論が出るのにはもう少し時間がかかる。指導員の不足も課題。その指導員をどう育成していくか、新たな部活動をどう公認していくのかということもあるので、今後段階ごとに情報発信をしていきたい。
Q 4 :	小中一貫校になった時に教員はどうなるのか。
A 4 :	小中一貫校であっても組織上は小学校と中学校が別々であるため、小学校は小学校の教員が、中学校は中学校の教員が教えることが基本になる。ただし、中学校の教員が小学校で教える、その逆の場合もあり得ると考えられる。 中学校の教員免許は教科ごとの免許になっているので、英語の免許であれば小学校の英語や外国語活動を教えることが可能である。小学校の免許だけでは中学校で教えることはできないが、小中両方の免許を持っている教員が多いので、その場合には中学校で指導することができる。
Q 5 :	小中一貫校になった時に校長先生はどうなるのか。
A 5 :	小学校と中学校がそれぞれある形になるので、双方に校長先生がいることになる。
Q 6 :	再編は誰が決めるのか。
A 6 :	最終的な決定は教育委員会が行う。住民の皆さんとの意見交換を行った上で決めていきたいと考えている。